

## 公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名	令和3年度 第2回安曇野市公民館運営審議会
2	日時	令和3年11月12日 午後1時30分から3時まで
3	会場	安曇野市役所 大会議室
4	出席者	羽重会長、田中副会長、安藤委員、狭間委員、西川委員、神谷委員、 望月委員、鈴木委員、関委員、高橋委員、佐々木委員、栗幅委員、 三好委員
5	市側出席者	平林教育部長、中央公民館深澤館長、豊科公民館鈴木館長、 穂高公民館中田館長、三郷公民館藤松館長、堀金公民館山田館長、 明科公民館安井館長、中央公民館臼井主事、青沼主事、金井主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年11月16日

## 協議事項等

### 会議の概要

- 1 開 会 田中副会長
- 2 あいさつ 羽重会長、平林教育部長
- 3 諮問事項
- 4 協議事項  
(1) 安曇野市公民館使用料の減免基準の見直しについて  
(2) 令和4年度公民館事業計画（案）について
- 5 そ の 他
- 6 閉 会 田中副会長

### 協議事項

(1) 安曇野市公民館使用料の減免基準の見直しについて（説明：中央公民館臼井主事）

#### 【委員】

負担割合が上がっているのは芸文協と体育協会。体育協会は練習云々より会議や総会を開くため、それほど公民館を練習場所として使わないだろう。芸文協は高齢化で若い人がいない。本当は上げない方がいいと思うが理解を求めてやっていくしかない。

#### 【委員】

80%減免だったが、50%減免になってしまった。委員もおっしゃっていたように、高齢化になって皆さん大変な状況である。公民館の維持費等でたくさんお金がかかっているためやむを得ないが、パーセンテージを50%ではなく60%など一工夫してもらえるとありがたい。

#### 【委員】

100%、50%と言わずに真ん中あたりにしてほしい。そうでないと負担が大きくなり大変ということですね。

#### 【事務局】

そのような意見がスポーツ審議会でも出た。75%でいいのではなど。しかし、こちらからではなく委員の皆様から、今まで減免が複雑すぎたという意見が出た。そのため、今回市では100%、50%、0%の3パターンしか考えてない。減免の制度を分かりやすく、簡素化をしていくことが大切。ただ、芸文協というものを大切に考えているので、今回の意見も参考にさせていただく。また、管理経費も燃料の高騰などに左右されるため、料金も減免も固定はせず、少なくとも三年ごとに見直しを行っていく。

**【委員】**

産業文化展などで各クラブの人が出てきた。しかし、高齢化で多くの人が出てこれない。もっと若い人に指導をしたらどうか、掘り起こしをしたらどうかと考えていた。芸文協はこれから若い人の指導をして育てていかないと、どんどん人が少なくなって自然に衰退していく。それらをご理解していただいて、なるべく減免の負担をかからないようにして行ってほしい。

**【委員】**

高齢化が進んで、いろいろな活力が無くなってきつつある。また、人も減ってきつつある。その中で次世代に、ということも考えている。次の世代を育てるために指導をする等の機会を作ったりしないといけない。次回の時には、減免のことをそういう区分の中からも考えて行ってほしいということですね。

2人の話の中では、市の基準に則って、減免の色々な数値がある難しい中で100%減免と50%減免の2本にしているということを理解して考えてほしいという市の立場と、逆の立場では何とか減免率の確保をお願いしたいという意見も出ました。

(2) 令和4年度公民館事業計画(案)について(説明:各公民館長)

**【委員】**

豊科ではあづみ野祭りがある。42回も続いているが、この祭りは豊科以外の地域からの参加者はいるのか。あづみ野祭りという名前も大きく広く感じる。豊科祭りにしてほしいというわけではないが、他の地域から参加している人がいるかお聞きしたい。

**【事務局】**

伝統のあるあづみ野祭りは、豊科地域の25の各公民館がそれぞれ工夫を凝らして一緒に踊る。豊科商店街のように安曇野市の企業も参加して下さるので、踊り連がかなりの数出ている。また、豊科公民館長が副実行委員になり、地区の公民館を挙げて踊りに参加する。

**【委員】**

名前が大きいと思う。本来は豊科祭りではないか。

**【事務局】**

第一回目からあづみ野祭りという名前であり、豊科祭りではなかった。

**【委員】**

昔からあづみ野祭りですべてやってきているので、ここで豊科祭りに変えると返事をすることはできない。友好都市の武蔵野市から参加しに来る人もいます。